

## 日本の文化を知る

日本にはさまざまな行事がありますが、今回はお正月についてお伝えします。私たちの間で、お正月は家族で新しい年を祝う行事として広く認識されていますが、本来お正月は『年神さま』を自宅にお迎えする行事だそうです。

『年神さま』とは、お正月の神様で、『歳徳神（としとくじん）』『正月様』とも呼ばれていて、『トシ=稔（みのり）』ということの意味し、五穀豊穡や稲の神様と言われているそうです。

年末に大掃除をして、日頃手入れが行き届かないようなところまで綺麗にして新年を迎えるということを、園でも子どもたちと一緒に毎年行っています。

今回改めて調べてみると年末の大掃除『煤払い（すすはらい）』というのは平安時代からの風習のようで、江戸時代に入り江戸城大奥で12月13日に行われていた煤払いの日の習慣が民間に広まったことにより、『煤払い=年末大掃除』として一般的に行われるようになったと考えられています。

また、お正月の飾りの一つとして『しめ縄飾り』があります。これは、神様がおいでになる神聖な場所を示すものとして玄関付近に飾るものです。神聖なものやおめでたいものを飾ることにより、神様がおりてきてくださるのにふさわしい、清らかな場所を家の中につくるという意味があります。

そして、今回はこの『しめ縄飾り』を実際に作ってみようということで、去る12月11日、クリスマス会後に年長児とその保護者対象に、希望者でしめ縄飾りのワークショップをおこないました。自分たちで作るという実体験から、『正月飾り』に興味を持ち、日本の文化に触れることができたのではないかと思います。

今後も、私たちの住んでいる国である『日本の文化』を子どもたちに伝え、その体験を通して興味関心が持てるようにしていきます。

（池之座）



亀親子の正月飾り  
職員で作りました  
エントランスに飾るので  
ぜひご覧ください